

# 鳥取県市町村職員共済組合

## 鳥取県市町村職員共済組合とは

鳥取県市町村職員共済組合は、鳥取県下市町村の職員とその被扶養者で組織する保険者です。

## 令和3年度末組合員数の状況

組合員数：7,729 人  
【男 4,033 人 女 3,696 人】  
任意継続組合員数：56 人  
被扶養者数：6,781 人

女性 3,696人  
男性 4,033人

## 2021年度版（2020年度実績分）健康スコアリングレポート

\*本レポートは、2018～2020年度のデータに基づいて作成しています。

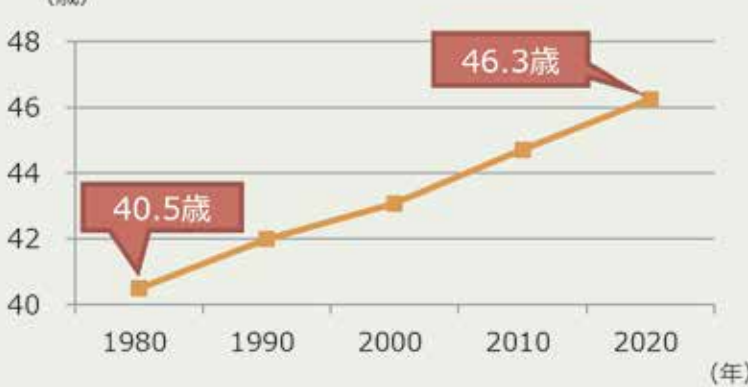
- 我が国は既に人口減少、超高齢化社会に突入し、深刻化する人手不足に加え、職員の平均年齢の上昇による健康リスクの増大、生産性低下といった構造的課題に直面しています。
- 職員がいつまでも元気で働き続けられる環境づくり、予防・健康づくりなくして、各地方公共団体等における持続的成長の実現は困難です。
- そのためには、共済組合と各地方公共団体等が連携し、一体となって予防・健康づくりの取組を進める必要があります。
- 本レポートでは、各地方公共団体等と共済組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。当共済組合は、全国の共済組合と比較して、特定健康診査、特定保健指導の実施率、肥満リスク及び喫煙率は良好だったものの、血圧、血糖、運動習慣に問題があり、適正な生活習慣を有する者の割合が低いという結果となりました。各地方公共団体等の財産である職員等の健康を守るため、予防・健康づくりのさらなる取り組みを行っています。

## 共済組合の保健事業が健康課題の解決策に！



少子高齢化の進展や定年延長といった社会環境の変化に伴い、労働者の平均年齢の上昇に加えて、共済組合における医療費も増加を続けています。こうした中で、職員等に対する予防・健康づくりの取組をより一層進めるために、企業と共済組合による協働が求められます。

### ■就業者の平均年齢の推移



※総務省統計局「労働力調査」に基づき推計（5歳階級の中央の年齢に就業者数を乗じた値を積み上げ、全就業者数で除す方法で算出）

### ■医療費の推移

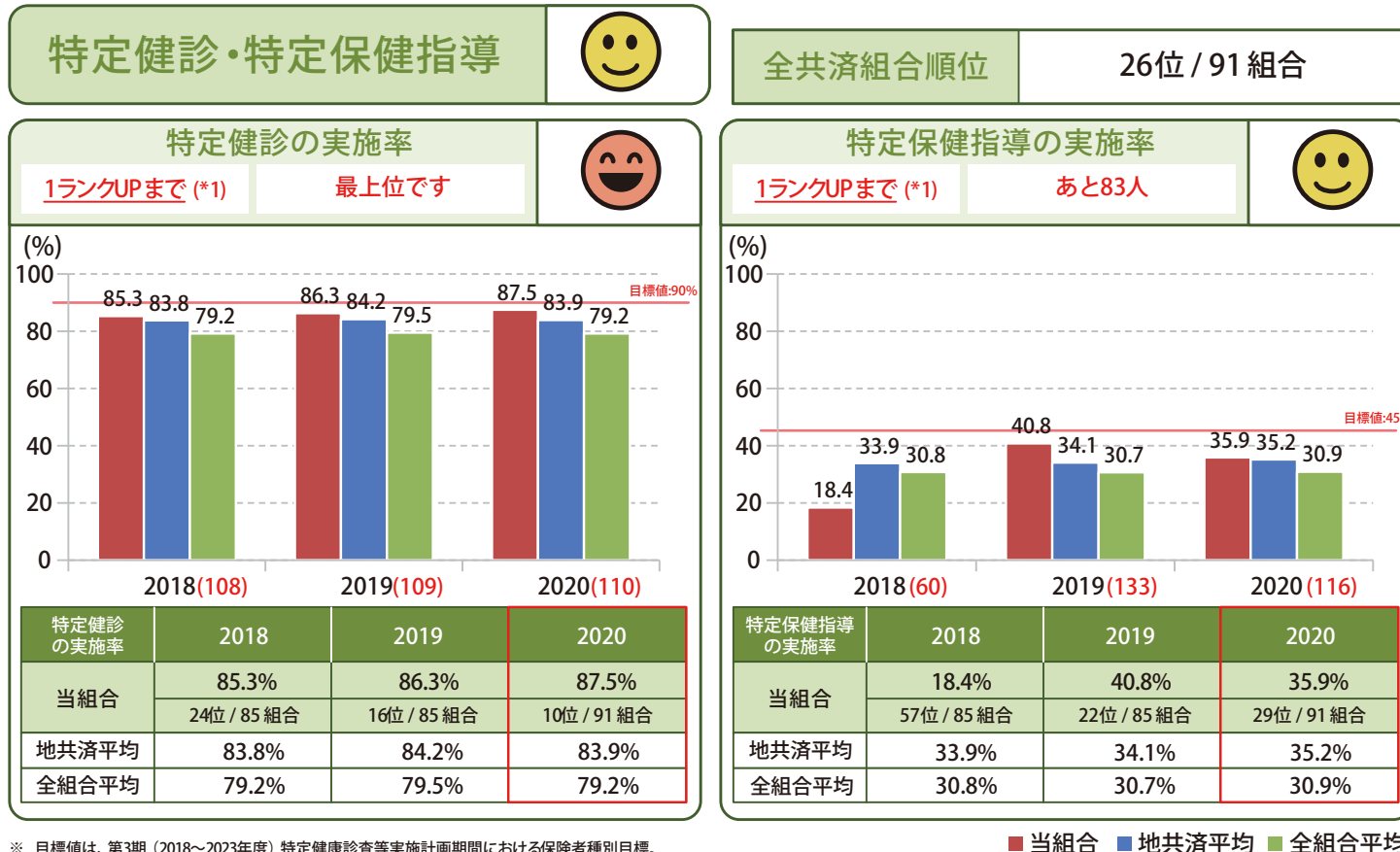


※厚生労働省「医療費の動向-MEDIAS」に基づき作成。医療費は全保険者の総額。

【本レポートで使用する用語の定義】「組合」：共済組合／「全組合」：全共済組合／「医療費」：年間医療費／「特定健診」：特定健康診査  
※内閣共済組合支部の終年データについては、内閣共済組合全体の情報を表示

## 当共済組合の予防・健康づくりの取組状況と健康状況の概要

### 【当組合の特定健診・特定保健指導の実施状況】



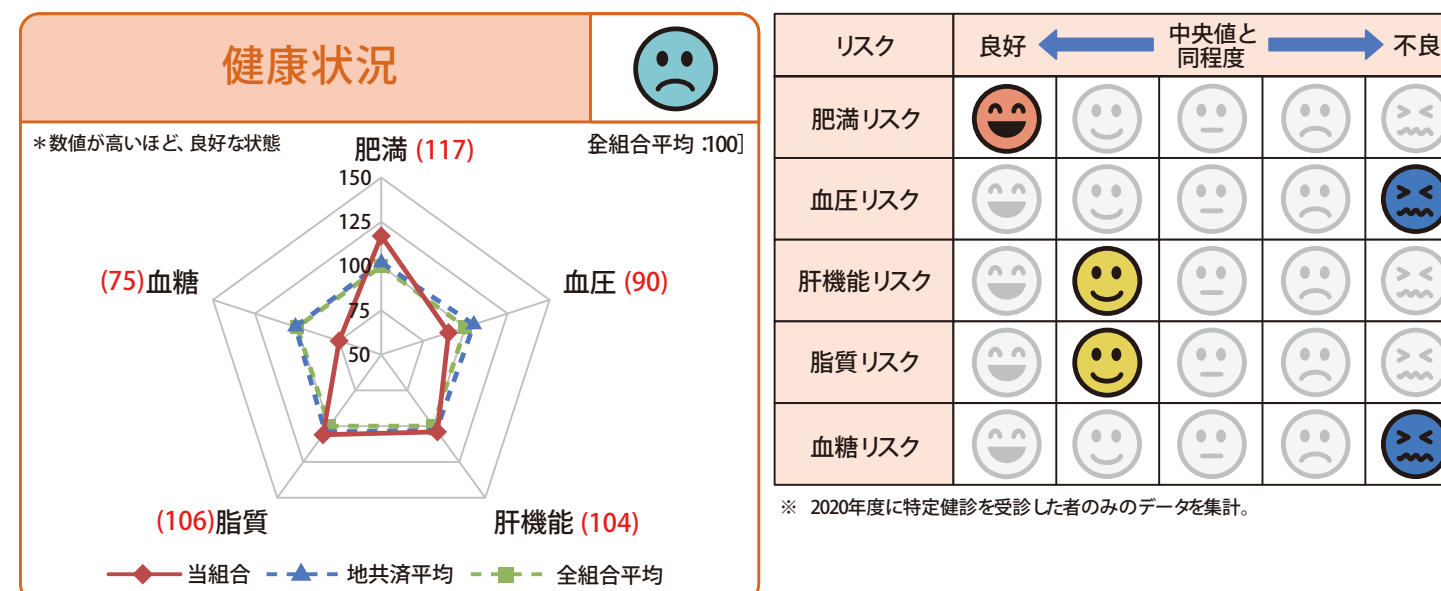
※目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。

※順位は、保険者種別目標の達成率の高い順にランキング。

※「内」の数値は、全組合平均を100とした際の各組合の相対値。

（\*1）「ランキングID」は、5段階評価のランクが1つ上りするための目安（差出人数）を記載

### 【当組合の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合



※2020年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

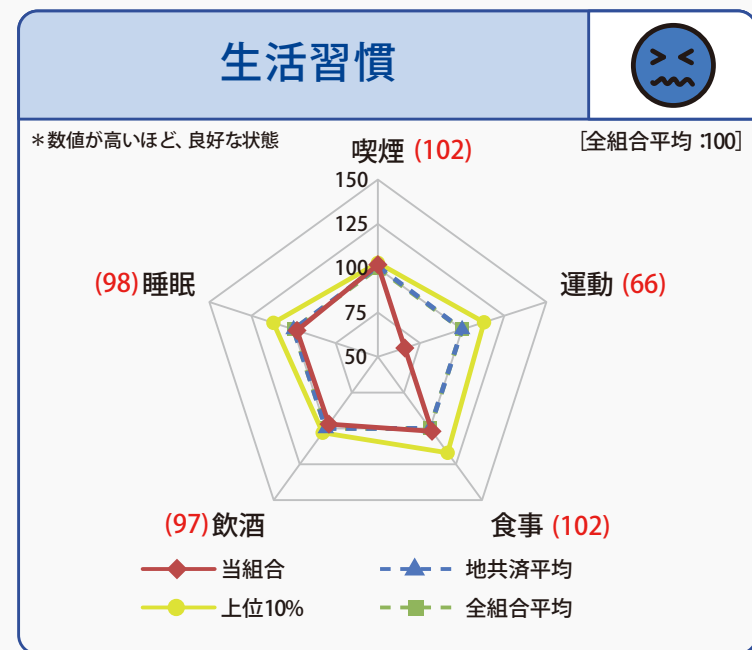
### 【参考】肥満リスクを下げ、生活習慣病を予防しましょう！

代表的な生活習慣病といわれる高血圧症・脂質異常症・糖尿病について、電子レセプトから罹患率を推計したところ、肥満リスク保有者の割合が高い組合ほど、生活習慣病の罹患率が高い傾向がみられます。肥満リスクを下げ、生活習慣病を予防しましょう。



## 当共済組合の生活習慣

### 【当組合の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合



| リスク         | 良好 | 中央値と<br>同程度 | 不良 | ランクUPまで<br>（*1） |
|-------------|----|-------------|----|-----------------|
| 喫煙習慣<br>リスク | 😊  | 😊           | 😞  | あと41人           |
| 運動習慣<br>リスク | 😊  | 😊           | 😞  | あと198人          |
| 食事習慣<br>リスク | 😊  | 😊           | 😞  | あと21人           |
| 飲酒習慣<br>リスク | 😊  | 😊           | 😞  | あと25人           |
| 睡眠習慣<br>リスク | 😊  | 😊           | 😞  | あと83人           |

※2020年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。  
※生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。  
※上位10%は全共済組合の総合スコア上位10%の平均値を表す。

（\*1）「ランキングUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（リスク対象者を減らす人数）を記載

| 健康状況の経年変化 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----------|------|------|------|
| 肥満        | 117  | 117  | 117  |
| 血圧        | 90   | 89   | 90   |
| 肝機能       | 100  | 102  | 104  |
| 脂質        | 104  | 102  | 106  |
| 血糖        | 74   | 73   | 75   |

| 生活習慣の経年変化 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----------|------|------|------|
| 喫煙        | 100  | 101  | 102  |
| 運動        | 64   | 65   | 66   |
| 食事        | 100  | 100  | 100  |
| 飲酒        | 97   | 98   | 97   |
| 睡眠        | 100  | 99   | 98   |

### 【参考】座りすぎは死亡リスクが高まる！

口中の座位時間が2時間増えるごとに死亡リスクが15%高まると言われています。糖尿病の人の場合は27%も高まると言われています。新型コロナウイルス感染症拡大によりテレワークとなっている場合でも、無理せず少しずつ体を動かす機会を増やしていきましょう。

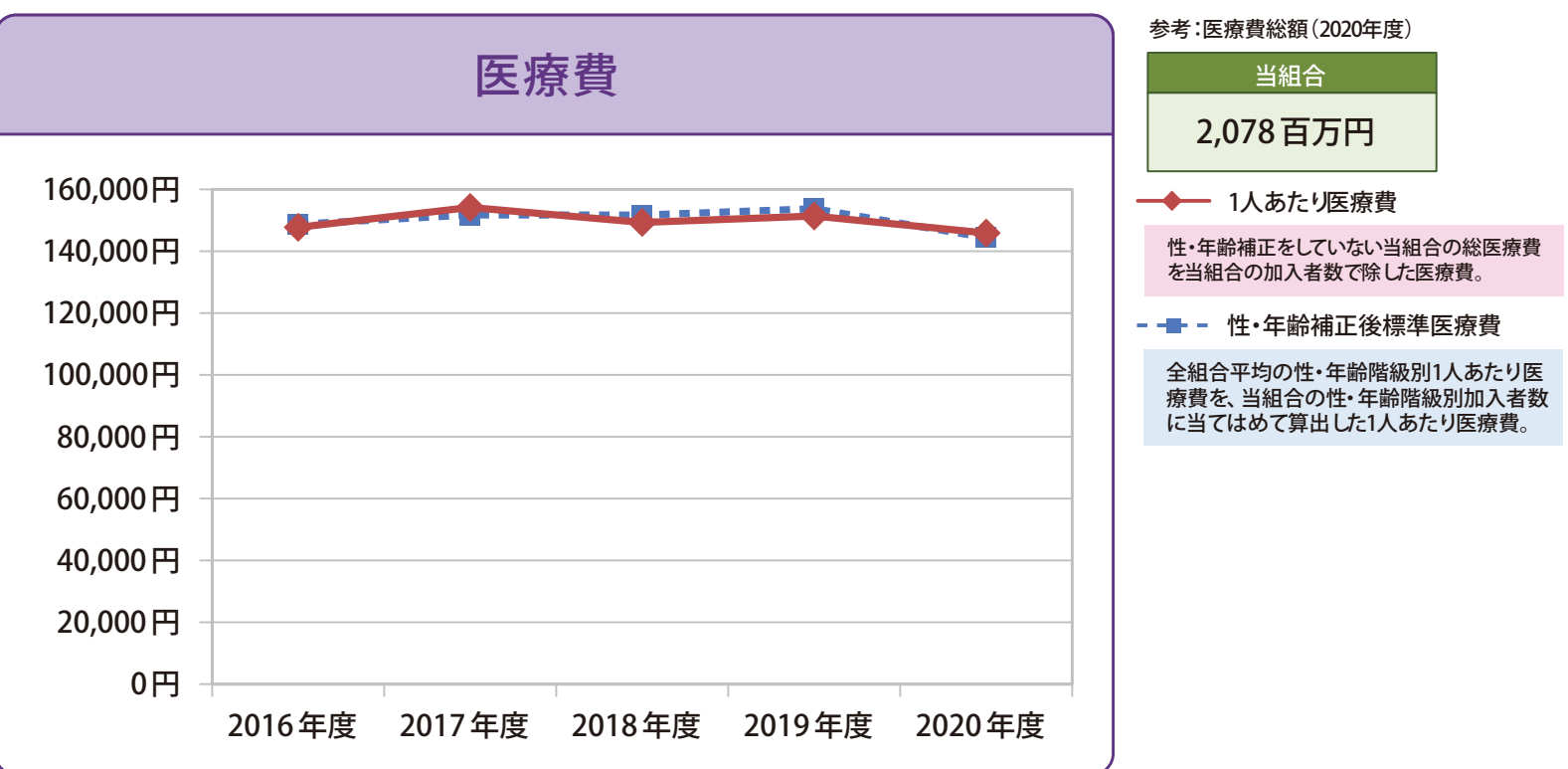
出典：京都府立医科大学「Effect of Underlying Cardiometabolic Diseases on the Association Between Sedentary Time and All-Cause Mortality in a Large Japanese Population: A Cohort Analysis Based on the J-MICC Study」JGIM 34(11):1910-1917(2019)



（注）【本レポートにおけるデータ対象】  
・医療費：全加入者／特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳  
・データが存在しない場合、非表示。計算不能の場合「」を表示。健康状況・生活習慣・医療費は、対象となる加入者数50名未満の場合「」を表示。

## 当共済組合の医療費概要

### 【当組合の医療費の状況】1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移



|              | 2016 年度  | 2017 年度  | 2018 年度  | 2019 年度  | 2020 年度  |
|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1人あたり医療費     | 147,729円 | 154,162円 | 149,309円 | 151,385円 | 145,882円 |
| 性・年齢補正後標準医療費 | 148,739円 | 151,741円 | 151,686円 | 153,740円 | 144,382円 |

### 【当組合の1人あたり医療費（2020年度）】

| 当組合       | 性・年齢補正後標準医療費 | 性・年齢補正後組合差指数 |
|-----------|--------------|--------------|
| 145,882 円 | 144,382 円    | 1.01         |

### 参考：当組合の男女別・年代別1人あたり医療費（2020年度）

|       | 男性       | 女性       | 20代     | 30代      | 40代      | 50代      | 60代      |
|-------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 当組合   | 142,347円 | 149,367円 | 97,654円 | 120,465円 | 141,127円 | 233,281円 | 285,755円 |
| 地共済平均 | 146,299円 | 149,633円 | 92,445円 | 119,217円 | 145,769円 | 222,827円 | 321,871円 |
| 全組合平均 | 142,202円 | 148,889円 | 88,092円 | 114,663円 | 140,186円 | 217,158円 | 322,430円 |

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料巻末「各指標の算出方法」参照。